

医療チーム第1陣岩手へ

小県医師会、5人を派遣

震災支援

東日本大震災の被災地で活動する小県医師会災害医療チ

ームの第1陣が22日、岩手県に向けて上田市を出発した。同県立宮古病院(宮古市)を拠点に25日まで、避難所などで診察や治療に当

たる。第4陣まで派遣する予定だ。

日本医師会から16日、被災地へ派遣する医療チームの編成の要請があった。ただ、「どの医療機関に何人の支援が必要か」といった具体的な情報が不足していたため、2009年3月まで10年ほど、宮古

病院など東北地方で勤務していた丸子中央総合病院(上田市上丸子)内科の塚原光典医師(37)が、かつての同僚らに連絡を取り、状況を確認。宮古市への派遣を決めた。

料などを車に積み、出発した。塚原医師は「東北は自分が医師として育ててもらった所。短期間だが、できる限りの支援をしたい」と話していた。

第1陣は、同病院の丸山和敏院長と塚原医師、看護師3人の計5人。医療器具や医薬品、滞在中の5人分の食



被災地へ出発するため荷物を積み込む塚原医師(右)ら